

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月31日

事業所名：運動療育センターすまっぴ 古賀教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		スペースは基準を満たしています。個室もあり個別での療育を行う場合にはそちらを使用しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		理学療法士、作業療法士、児童指導員、様々な資格者が所在しており、児童に合わせてスタッフの人数も配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	71%	29%	・事業計画が把握できていない ・長期休暇前後の会議や事業計画に関して行っている会議を適宜行っています	職員が把握できるよう掲示するよういたします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		アンケートを年に一度実施しており、ご意見いただいたものは改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページ、Instagramにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	86%	14%	・監査で実施	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・もう少し研修の機会がほしい ・委員会や研修動画を活用している	他の放課後等デイサービスの事業所の方々と協力し、勉強会を行っています。その他、自己研鑽内での実施を進めていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		数か月に一度お子様の評価を行い、面談で保護者様の意向を聞いたうえで個別支援計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%		全事業所同じアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	57%	43%	・休日は話し合う時間を設けることがなかなか難しい ・長期になると思うように進まないときがある	朝礼、終礼を行なっています。時間の確保をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		必ず支援前に会議を行い統一した支援が行えるよう努めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%	・次の日に会議にて支援の振り返りを行なっている。	終礼を行い、その日の児童の様子等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	29%	71%	・異動にもない難しい面もある	伝達時間の確保等、随時行なっています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	43%	57%	・対象者がいない、対象者がいれば対応していく ・対象者なし 対象者がいる場合は連絡体制を整える ・対象者がいないため、行っていない ・現在対象者はいない	現在医療的ケアが必要なお子様は受け入れをおこなっておりません。必要に応じて体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	86%	14%	・相談員から情報共有をして頂いている ・担当者会議を通じて情報を得ている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	86%	14%		必要に応じて提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	29%	・どちらとも言えない ・相談員を介して専門機関と連絡をとっている ・連携をとりたいが、断れるため取れていない ・一部では難しい面がある	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	71%	29%	・保護者の同意のもとに、交流を求めない保護者もいたりするので、その際は、しないようにしている。 ・交流を求めないご家庭にも配慮して可能な範囲で交流をしている ・交流を求めない家庭もあるため、配慮しながら行っている ・保護者に同意を得ながら検討している	交流を希望されないご家庭が多いので特別そのような場は設けていません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	86%	14%	・管理者が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		送迎時に保護者様と直接お話をして共有をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	・面談時にお伝えしている（形としては、作っていない ・面談等で助言などを行なっている ・保護者に助言をしているが形としては作っていない ・面談や送迎の伝達を通じて助言を行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に説明させていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	71%	29%		ご希望されないご家庭が多いのでそのような場は設けておりません。必要に応じて今後対応します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	86%	14%		行事予定は毎月お送り、スタッフ紹介の用紙も必要に応じて発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	43%	57%	・個人情報のボックスの鍵を閉めていないので閉める ・書庫の鍵を閉めていない ・キャビネットなど個人情報がある所を施錠しておく	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	29%	71%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	57%	43%	・把握ができていない ・あるようだが周知できていない面がある	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86%	14%		年に二回必ず避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		虐待防止研修や、研修動画学ぶ場を確保しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	71%	29%		契約の際に説明させていただき、やむを得ず行う場合は事前に計画書に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		アレルギーのある児童のアレルギー品目はおやつには取り入れないようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		全事業所で共有しています。